



歴史散歩「城下町金沢の真宗寺院—小將町・扇町・曉町を歩く—」(2013.5.9)

No.107 2013・7・5

ISHIKAWA-KEN HISTORY MUSEUM

発行 石川県立歴史博物館

〒920-0963 金沢市出羽町3番1号

TEL.076(262)3236 FAX.076(262)1836

http://www.pref.ishikawa.jp/muse/rekihaku/



ISHIKAWA-KEN
HISTORY
MUSEUM

れきはく

石川県立歴史博物館
リニューアルオープン プレ企画展

大名行列が やってきた!

— 優品にみる加賀藩 —

in 小松

平成25年 7月20日(土) ~ 8月25日(日) 月曜日休館

開館時間 午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

入館料 一般 500円 高校生以下無料

会場 小松市立博物館

※一般料金はこまつミュージアムバスポート利用

「前田家帰国之図」 柳營儀式図絵 江戸時代 弘化3(1846)年 本館蔵より

休館中の今年度は、リニューアルオープンに向けたプレ企画展を県内3か所で開催します。第一弾は小松市立博物館にて、れきはくが所蔵する加賀藩関連の優品を、加賀地区の皆さまにご覧いただきます。

本展覧会は、武具や大名行列図などを中心とした「太平の世と武士」、優れた美術工芸を紹介する「華ひらく技と美」、大野弁吉の作品を軸に加賀藩の科学技術を紐解く「からくりと科学技術」、そして「小松の歴史と風土」の4本の柱で構成されます。このうち「小松の歴史と風土」では、「加州金平鉾山図」(県文)など、開催地小松に関連した絵画・絵図資料を特別に公開します。また、会場にリニューアルPRコーナーを設け、この度のリニューアルがどのようなものか、広く知っていただきたいと考えています。

会期中は、いつでも誰でも参加できるクイズラリーや、土曜日・日曜日のみの週末ワークショップを開催します。この夏はぜひ小松市立博物館で、れきはくの優品に触れてみてください。

関連イベント

講演会「金平鉾山と十村石黒家」

講師：見瀬 和雄氏(金沢学院大学教授)

日時：7月27日(土) 14:00~15:30

定員：100名(先着順)

会場：小松市立博物館1階 市民ギャラリー「ルフレ」

※聴講無料・事前申込不要(展示室観覧の場合は入館料が必要)

れきはく学芸員によるギャラリートーク

①親子向け「お殿さま、旅をする！」

7月28日(日) 14:00~15:00

②一般向け「加賀藩の歴史と文化」

8月11日(日) 14:00~15:00

※いずれも要入館料(高校生以下無料)・事前申込不要

週末ワークショップ(会期中の土・日曜日のみ)

①へんしんコーナー 甲冑やお姫さま衣装の体験

②からくりコーナー 実演をまじえ江戸時代のからくりについてレクチャー

※からくり実演は1日3回(10:00~/14:00~/15:00~)

※ご入館の方はどなたもご参加いただけます。

歴史博物館のリニューアルプラン紹介 ①

博物館リニューアルのポイントについては、本紙第一〇五号でお知らせいたしました。今号と次号では、鳥瞰図を示しながら第一棟・第二棟の概要とみどころをご紹介します。

今回のリニューアルでは、建物の修繕、空調機・内装の工事などを行います。国の重要文化財である建物の躯体には大きな変更を加えません。したがって、展示内容の刷新、フリー（無料）ゾーン

歴史から生まれる発見！ 新たな出会いと学びの場

① 石川の歴史をダイナミックに体感

精巧なジオラマや迫力ある大型スクリーンなどを使い、一向一揆・大名行列・加賀能登の祭りといった、石川の歴史と文化をシンボリックに展示します。

② 特別展示室を拡張し魅力ある展示会を開催

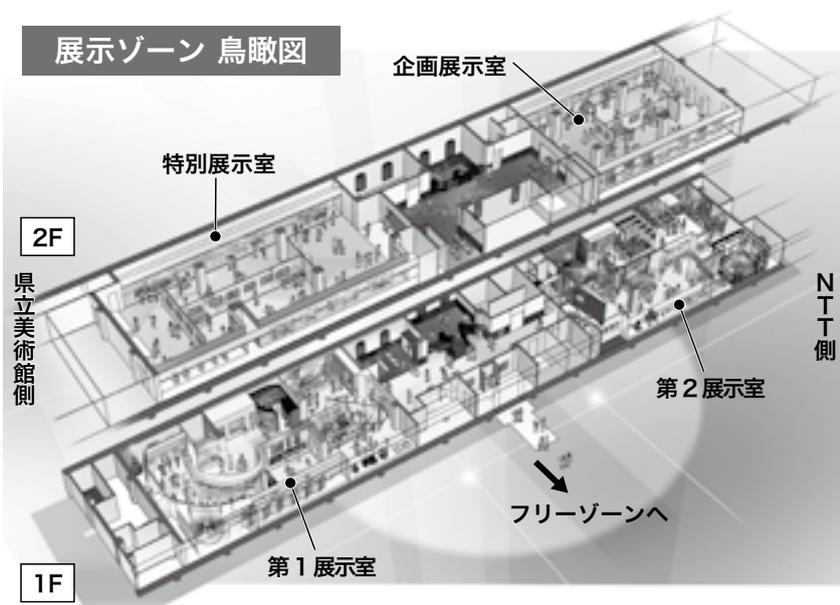
特別展示室を約一・五倍に広げ、これまでにない大規模な展示会や所蔵品を中心とした多彩な企画を展開します。

③ 気軽に立ち寄れるフリーゾーンの設置

フリーゾーンでは、ゆったりくつろげるサロンやギャラリーを設け、観光文化情報も発信し、出会いと交流の場とします。

の設置などが、今回のリニューアルの目玉であるといえます。

左の図は、これまで常設展示室（第一～第三）のあった第一棟のリニューアル後の鳥瞰図です。二階



展示ゾーン 鳥瞰図

①

は大型展示も開催可能な特別展示室と企画展示室になります。

特別展示室と企画展示室を合わせた面積が従来の特別展示室の約一・五倍に増えるため、大規模な巡回展を開催することも可能になります。また、企画展示室は所蔵資料を中心に毎回テーマを更新しながら、話題性のある展示を行いますので、特別展が開催されていない時にも二階で展示をご覧いただけます。



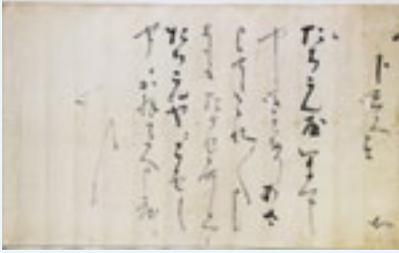
建物外観

一階は石川の歴史・民俗を紹介する展示室です。図面の左側（第1展示室）が石川のはじまりから幕末まで、右側（第2展示室）が石川県の誕生から現代までの歴史と民俗を紹介するコーナーです。従って、展示ゾーンの二階だけで石川の個性あふれる歴史が体感できます。これまで展示室が三棟に分散していた問題が解消され、エレベーターや多目的トイレの設置によりバリアフリー化も実現されます。ま

資料紹介

引越し作業の中、「お宝」発見！

リニューアル工事に伴う資料移動も後半戦に入ってきました。台帳や保存書類と突き合わせながらの確認作業が続いています。そんな中、思わぬ「お宝」が見つかることもあります。そんな逸品をご紹介します。大鋸コレクシヨンの未整理の中から出てきたのは、加賀藩主二代利長の書状ばかり七通を貼りつけた巻物です。しかも内容が館紺屋たたらやのことばかり。館紺屋といえば、れきはくでは利家書状一通と利長書状二通を所蔵しています。この書状で利長は、慶長五年（一六〇〇）に館紺屋に紺屋かじりやの頭役を命じています。



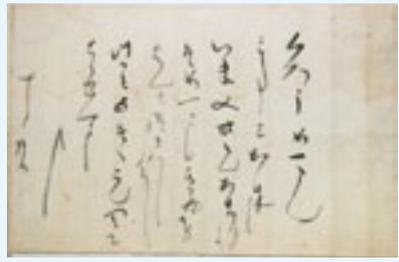
前田利長書状①

写真は最初の一枚（写真①）。「たちこんやいま可申候／屋敷隣り空き／申候由候 だれだれ申候／ともに出さ

ことが書かれており、仕事振りの見事さなどを述べ、その処遇を周囲の者へ指示している内容のようです。

せ候べく候／たちこんやにとらせ申候／やうに出羽かたへ申候べく候／かしく（適宜、漢字や濁点に改めてあります。／印は改行です）とあり、館紺屋の隣に空き屋敷があると聞いたから、館紺屋へ与えるようにしなさい、というものです。

また五通目（写真②）には、「黒梅一反／見事に出来申候／今また三十反余りも／染め可申候き様を／範に違わし候べく候／此紙五束 紺屋に／とらせ可申候／かしく／十月二十日（前に同じ）とあります。黒梅を染めた物の出来が素晴らしかったので、追加で三十あまり注文している。おまえを監督者として派遣する。紙束5つは、館紺屋にあげなさい、と述べています。



前田利長書状②

いずれも家臣の中の誰かに宛てて書かれた手紙です。宛名が誰なのか。なぜ解きは、リニューアルオープンまでのお楽しみにしておきましょう。ともあれ、紺屋頭こつやがしらに任命された館紺屋の働きが素晴らしかったこと、その仕事ぶりが利長の満足するものであったこと、慶長五年から十年まで（一六〇〇～〇五）のわずかな期間の書状であることなどがわかり、金沢の戦国時代末期に位置づけられる重要な書状発見となりました。

（資料課長 濱岡伸也）

毎週水曜日は
Meiカード ポイントプラスデー

Meiカード 通常ポイント + 3% ポイントプラス

合計 5~11% ポイントに!

※催事場・地産食品館などや、ご奉仕品は、通常通りのポイントとさせていただきます。詳しくは売場係員におたずねください。

— もっとお客様へ、もっと地域に —

MEITETSU MIZA めいてつ・エムザ

金沢・おさしが辻 TEL 代表(076)280-1111
http://www.meitetsumza.com/
10時~20時 ●地産レストラン併設 書籍は21時まで

人事異動（四月一日付）

転入	総務課 主幹 西村 学（国際交流課より）
資料課 学芸主任 石田 健（石川県立加賀高等学校より）	
転出	総務課 主幹 森 孝弘（石川四高記念文化交流館へ）
退職	学芸課 課長 本康宏史

本多の森から

いよいよリニューアル工事による休館に入りました。皆様にはご迷惑をおかけして申し訳ございません。しかし歴史は動いています！

リニューアルオープンプレ企画展（移動展）をはじめ、れきはくゼミナール、歴史遺産セミナー、その他いろいろ、場所を館外に移して活動中です。皆様のご参加をお待ちしています。